

UTSUNOMIYA CONSTRUCTION WORKERS'

つ 世 け 宮 都 字

CONSTRUCTION

vol. **307**

2016

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様



『秋 ～北海道～』

(株)テツカ産業 手塚 誠 様 写真提供



一般社団法人 宇都宮建設業協会

優良建設工事表彰

平成28年度の栃木県優良建設工事ならびに宇都宮市優良建設工事の表彰に伴い、当該工事を担当した現場代理人および主任（監理）技術者に対して、去る平成28年10月21日、建設産業会館においてその功績と栄誉を称えた表彰式が行われた。（一社）宇都宮建設業協会からの表彰対象となった優良工事は以下のとおり。

なお、表彰式には会員約70名の参加のほか、齋藤守栃木県県土整備部参事兼宇都宮土木事務所長、桜井鉄也宇都宮市上下水道事業管理者をはじめとして、栃木県および宇都宮市から多数の来賓が出席した。



◆栃木県知事表彰

●宇都宮土建工業株式会社

舗装工事 3・3・1 鹿沼宇都宮線その2（補助街路）

●中村・岩村・渡辺特定建設工事共同企業体

栃木県立高等特別支援学校（仮称）管理教室棟新築工事

栃木県知事表彰 2社

栃木県宇都宮土木事務所 所長表彰 3社

宇都宮市表彰 16社

受賞された方々のあいさつ

舗装工事 3・3・1 鹿沼宇都宮線その2（補助街路）

宇都宮土建工業株式会社 村上 明

このたび、知事表彰を戴けたことを大変光栄に思っております。本工事は、都市計画道路3・3・1号鹿沼宇都宮線下栗町工区内の道路改良を伴う舗装工事で、平成27年12月19日に開通しております。慢性的に渋滞が発生する上に歩道のない間屋町入口の交差点形状を、ステップ1～4と変化させながら段階的に交差点の移設と現道部の拡幅工事（夜間施工）を同時進行で進めるという大変手間のかかる工事でした。さらに現場周辺には老人保健施設を併設した病院、宇都宮東高校・附属中学校、大型スーパーマーケット、宇都宮卸商業団地があり、通勤・通学・通院・買物等で第三者の通行が絶えませんでした。そのような中で、皆様が安全かつスムーズに交差点内を通行できるよう配慮しながら工事を進めました。特に、交差点形状と信号機の位置を変える際には、工事の進捗に合わせて県警察本部及び宇都宮南警察署と協議し、その時点で最良の位置に仮設の信号機を設置するなどしました。また、初めて交差点を通る皆様にもわかりやすい案内看板・安全施設の設置を心掛け、車イス利用者にも安心して通行していただけるような歩行者通路を確保しました。工事中は、地下埋設物・架空線・電柱等道路占用物の各管理者と、埋設管の位置の立会い・電柱移設時期の協議・マンホール蓋の高さ調整（15箇所）などの打合せを繰り返ししました。ほかにも、外灯工事やバス停工事業者及び隣接工区とも工程調整を行い、円滑に工事を進め予定どおり開通まで1か月を残して無事に現場を引き渡すことができました。受賞にあたり、ご協力をいただきました地域住民の皆様、ご指導を賜りました発注者の皆様、協力していただいた隣接施工会社・協力会社の皆様に厚く御礼申し上げます。今後も一層努力を重ね、地域社会に貢献していきたいと思っております。



栃木県立高等特別支援学校（仮称）管理教室棟新築工事

中村・岩村・渡辺特定建設工事共同企業体 横松 隆



本工事は、宇都宮市京町の旧宇都宮工業高等学校を解体し、その跡地を2分し南側に高等特別支援学校、北側に一条中学校を新たに建設する工事でした。高等特別支援学校建設工事同一敷地内で管理棟新築工事と同時期の発注工事として、体育館改修工事、生活ホーム棟改修工事、武道館改修工事が発注され、同時進行で工事を進めてまいりました。敷地東側市道をはさんだ東側には西原小学校、敷地南側には隣接した住宅があり、工事関係車両の出入口については、解体工事からの引継ぎで東側1か所のみと限定されておりました。周囲の立地条件や施工条件を踏まえ、別途発注工事との連絡調整不足による災害防止、近隣安全環境対策を重点管理項目とし、定期的な情報共有並びに統一した作業所ルール決め及び周知の場として安全協議会を設置し災害防止に努めました。近隣安全環境対策として、着工前及び躯体工事時の振動騒音工事に対する事前の周知、定期的な工事予定の配布、足場面への防音シートの設置等騒音や粉塵防止対策等を行い工事への理解と協力をお願いしました。

また、地域貢献活動の一環として、周辺道路清掃、現場見学会、献血活動等を行いました。見学会では隣接する西原小学校6年生児童を対象に、普段は立ち入ることのできない建設現場での作業の様子や基礎工事から完成までの工事中の映像などを見てもらい、工事のイメージアップ並びにものづくりの楽しさや魅力を感じてもらい、少しでも建設業に興味をもっていただければと思い現場見学会を開催しました。

工事を施工するにあたり、ご協力いただきました地域の皆様、ご指導いただきました監督職員並びに関係機関の皆様、また工事に携わっていただいた協力業者の皆様には、心より感謝申し上げます。

今後とも、本受賞を励みに環境・安全への配慮や、より一層の品質・技術の向上に努め、地域に愛される企業を目指してまいります。

◆栃木県宇都宮土木事務所 所長表彰

- 岩原産業株式会社
舗装工事宇都宮鹿沼線その5（快適安全道補）
- 山本建設株式会社
舗装工事 3・3・1 鹿沼宇都宮線その4（補助街路）
- 米弥工業株式会社
舗装工事 3・2・101 大通りその4（補助街路）

◆宇都宮市優良建設工事表彰

- 株式会社増淵組
白沢配水場送水管整備工事
- 宇都宮土建工業株式会社
戸祭山緑地整備工事
- 大幹建設株式会社
準用河川越戸川バイパス築造工事
- 株式会社菊地組
公共下水道築造工事 第6工区

- 有限会社若林造園土木
道路築造工事 分割2号（市道5340号線）
- 岩原産業株式会社
特定環境保全公共下水道築造工事 第105工区
- 渡辺建設株式会社
配水管更新工事 第6号
- 小平興業株式会社
雨水排水築造工事（分割1号）
- 渡辺・増淵・上陽建設共同企業体
河内地域自治センター改築工事
- 成常・興建建設共同企業体
緑が丘小学校屋内運動場改築工事
- 日豊・晋豊・片島建設共同企業体
陽西中学校屋内運動場改築工事
- 増淵・柴田建設共同企業体
西小学校屋内運動場改築工事
- 山本建設株式会社
自転車走行空間舗装工事分割1号（市道4866号線）

雨水排水築造工事（分割1号）

小平興業株式会社 菊池美智雄

本工事は宇都宮市南区画整理第一区画内の主要幹線道路に平松本町から東峰町方面にかけ延長47.3m幅員25mの区間でボックスカルバートを埋設する工事でした。

道路の共用は開始されておりましたが、近隣住民の方が一部近道として通行されており、施工上工事の安全と歩行者、自転車や一般車などの安全確保の観点から全面通行止めとし、仮囲いフェンスを設置して施工時は誘導員を配置し、夜間は照明灯と点滅灯を設置して安全確保に努めました。

掘削土の仮置場が住宅や共同住宅に隣接するため、運搬路の清掃をこまめに実施し散水等も適時行って粉塵対策を実施し、また運搬路に未舗装の箇所があり随時碎石等で補修するなど通行に支障が出ないように心掛けました。

施工で苦慮した点では上流側と下流側とで二次製品の製造メーカーが異なり、ミリ単位での調整や現場での施工の際、継目のコーキングの出来栄に気を遣いました。

また、施工前には「工事のご案内」を作成し、進入路及び隣接地の各住宅に工事の時期や作業内容を説明して店舗や歯科医院の方とは詳細に打合せを行い、二次製品の搬入を休業日に行うなど作業内容や作業時間の調整を行って施工に当たりました。

最後に工事を施工するに当たりご指導いただきました監督職員の皆様、ご協力いただきました地域の皆様、また協力業者の皆様のご協力により無事故・無災害で竣工できましたことを心より感謝いたします。



河内地域自治センター改築工事

渡辺・増淵・上陽建設共同企業体 阿久津宜久



この度、宇都宮市優良建設工事建築部門での表彰をいただきまして大変喜ばしく思います。

本工事は、同一敷地内に生涯学習センター、敷地東側には古里中学校、南側には住宅地があり、工事による騒音・振動には十分な注意を払うことを特に心掛けました。

その対策としては、杭工事、土工事、コンクリート工事の着手前には、日程、1日の稼働時間、注意点等を記載した案内文を作成し、近隣に配布するとともに、基礎躯体及び上屋躯体工事中には、騒音計・振動計での定期的なモニタリング調査を行い、騒音及び振動レベルが規定値以内で推移しているかを確認しました。

また、1日2回以上現場周辺の安全パトロールを行いながら、近隣の皆様と会話（立ち話）をしてコミュニケーションを図り、早朝から夜遅くまでのコンクリート打設工事にもご理解を得られました。同一敷地内にある生涯学習センターとは共同防火管理について、緊急時の連絡・消火・通報・避難等の防火規則を双方で確認し、取り決めを交わし火災が発生した場合には早急に対応できるように備えました。

最後になりますが、工事を施工するに当たりご指導いただきました監督職員の皆様、ご協力いただきました地域の皆様、または関係機関の皆様、当工事に携わった協力業者の皆様のご協力により無事故・無災害で工事が竣工を迎えることができましたことを心より感謝申し上げます。また、今後も更なる施工水準の向上を図るため、日々研鑽していきたいと思っております。



愛リバーとちぎ 河川清掃活動

川の日・田川クリーンアップ大作戦

2016.9.30(金)

去る9月30日、今年度4回目の「愛リバーとちぎ」河川清掃活動を実施しました。

会員企業から27社が参加し、4班体制で9時から宇都宮中心部を流れる一級河川田川沿岸の清掃活動を行いました。



参加者は8時30分に建設産業会館に集合し、末長修一建設委員長、佐々木隆建設委員からそれぞれ注意事項、作業手順の説明を受けてマイクロバスに乗り込み、宮の橋に到着後、清掃作業を開始しました。

宮の橋上流を1・2班が担当、下流側を3・4班が担当して、肩掛け式の草刈り機で雑草を刈り取り、熊手と竹ぼうきで集草しゴミ袋に詰め込み搬出しました。この日は天候にも恵まれ、全員が宇都宮建設業協会のロゴ入りベストを着用し遊歩道の清掃活動を行いました。

今後も地域に根付いた活動として、きれいな河川環境の維持に貢献してまいります。

(石黒)

宇都宮市 総合 防災訓練

「平成28年度総合防災訓練」

2016.8.20(土)

8月20日、宇都宮市立豊郷中央小学校にて「宇都宮市総合防災訓練」が行われました。

この訓練は、午前9時00分に宇都宮市を震源とする震度7の直下型地震が発生し、建物が多数倒壊したほか、道路、ライフライン等に被害が生じているという訓練想定の下、市や防災関係機関、市民団体の76団体、約2,500名が参加し、9時の想定地震発生と同時に「地震のとき自分の身を守る訓練」で開始され、関係機関の各種訓練を順次行いました。

当協会は「震災救出・障害物除去連携訓練」の障害物除去部門に参加し、宇都宮国道事務所や宇都宮市、陸上

自衛隊などと共に関係者が連携して、道路啓開訓練を実施しました。通行不能箇所の発見・通報から負傷者の捜索・救出・救命を行い、倒壊建物の撤去、道路の安全確認、開放と一連の作業を滞りなく行いました。当協会は、建設委員会が中心になって、ユニック車を使用し、倒壊家屋の除去を行いました。

本年も熊本地震が発生するなど各地で頻繁に災害が発生している昨今、関係機関との連携作業を行うことができ、緊張感のある大規模な訓練となり、貴重な機会となりました。

(手塚)





「非常事態宣言」

2016.10.12(水)

10月12日(水)、晴天の中、第305回安全パトロールを実施いたしました。当日は、お忙しい中、宇都宮労働基準監督署・澁谷署長並びに西村安全衛生課長、発注者から県土整備部小松副検査監、宇都宮土木事務所中島副主任、宇都宮市上下水道局技術監理室塚原検査監、建災防栃木県支部下都賀分会鯉沼副会長、前原運営委員長、早乙女・鈴木副運営委員長のみなさま、そして建災防教育部長・建災防安全指導者・店社安全責任者を含め、計40名で実施いたしました。



冒頭、澁谷署長より、「栃木県の労働死亡災害は、28年度9月末で16件。そのうち4件が建設業で、そのうち2件が宇都宮管内で発生した事故であります。昨年は、1年間で1件でしたので、すでに2倍になっている。非常事態と言っても過言ではありません。」とお言葉をいただきました。パトロールは、土木工事の現場3件、建築工事の現場1件を巡視しました。巡視の後の講評では、良い評価として「どの現場も、安全の意識が高い」との意見をいただき、改良の点として「ヒヤリKYシートを活用してほしい。」(栃木労働局HP掲載)との意見もいただきました。最後に澁谷署長の「事故・災害を起こさないで、よいお正月が迎えられるように」というお言葉が心に残る一日でありました。

(高田)

平成28年度建設業災害防止安全対策セミナー開催



平成28年度建設業災害防止安全対策セミナーが、10月20日、とちぎ福祉プラザにて開催されました。冒頭、建災防栃木県支部宇都宮分会増淵分会長より「県内の建設関係の労働災害は増加傾向にあり、死亡災害はすでに2件を発生しており、休業4日以上労働災害についても昨年同時期に比べて増えているなど、誠に残念な状況にあります。」とお言葉をいただきました。また、鹿

野雄久氏より、安全施工を祈念するべく、「安全文化」推進運動の展開、墜落転落災害を中心とした三大災害の撲滅などを主とする決意表明をし、その後は安全講話を行いました。

なお、安全講話の演題と講師の先生は以下のとおりです。

ご協力ありがとうございました。

(高田)

◆ 宇都宮中央警察署 交通総務課長 長門淑江 様
『交通事故防止のポイント』

◆ (一財) 日本健康財団 佐々木理沙 様
『リフレッシュ体操 肩凝り・腰痛予防、改善』

◆ 建災防栃木県支部
労働安全衛生コンサルタント 橋爪良行 様
『墜落・転落災害について』

REPORT

| 青年の会 活動報告 |

愛の献血運動

2016.7.13(水)14(木)



本年も7月13日(水)、14日(木)の2日間にわたり、栃木県宇都宮市のマロニエプラザにて第52回建設展が開催されました。

建設展では各団体・企業の最新技術や力を注いでいる製品が数多くブースに展示されており、昨今の時代背景に伴い環境やエコに関する製品も多く出展されていました。

また、小展示場では栃木県・宇都宮市による建築工事講習会などが行われ、多くの来場者を集めました。

これに伴い、会場入口では日本赤十字社のご協力のもと、恒例となりました宇都宮建設業青年の会ほか3団体による愛の献血活動が実施されました。

この活動は当団体の社会奉仕活動の一つで、建設業のイメージアップ運動の一環として実施されております。本年も多くの方にご協力いただくことができました。

ご協力いただきました献血者の皆様、並びに各関係団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

(古橋)

2016宇都宮城址まつり

2016.10.23(日)

宇都宮建設業青年の会は10月23日(日)に宇都宮城址公園にて開催された「宇都宮城址まつり」において、毎年恒例の高所作業車体験と今年から新たにショベルカー体験ブースを設けました。本事業は、総合学習支援活動の一環として市内の小学生を無料で招待し、子供から大人まで150名以上の方が参加してくださいました。青年の会メンバーが力を合わせ、高所作業車の足場の組み立てから周囲の安全施設の設営などを行い、参加者の搭乗のお手伝いを行いました。子供たちが高所作業車やショベルカーに搭乗している際の笑顔を見ると、本事業の意義と継続していくことの重要性を感じました。

最後に、ご協力いただきました皆様、協賛協力いただきました西尾レントオール株式会社様、株式会社谷沢製作所様、ありがとうございました。

(津野田)



新

社

長

紹

介



岩村建設株式会社

代表取締役社長 鈴木 隆之

平成28年6月1日より代表取締役社長に就任いたしました鈴木隆之です。

宇都宮建設業協会では安全委員会と宇都宮建設業青年の会でお世話になっております。

高専を卒業後、大手ゼネコンと県内設計事務所を経て20年前に入社し、技術職・営業職を経験してまいりました。

弊社は1976年の設立より40周年を迎えることができました。バブル崩壊や規制緩和、リーマンショック等の大きな流れの中で弊社が存続できたのは、宇都宮建設業協会会員の皆様はじめ、弊社に関わって

くださった方々よりの御指導、御声援があつてこそと深く感謝しております。

また、昨今の建設業界も従来の垣根を越えた競争が激化し、大きな変化の流れは続いております。この変化の時代においてもお客様から選択され続け、さらに確実な事業継続、発展を遂げるために変化に負けない柔軟な会社運営と、これまで築いてきた信頼を裏切らない誠実な対応が必要と考えております。

その一環として2001年にISO9001、2011年にISO14001を認定取得し、品質及び環境マネジメントシステムを効果的に運用し、継続的な改善を行い、お客様に信頼される建築物を提供しております。

今後も宇都宮建設業協会員の皆様と切磋琢磨し、地域社会の安全、経済の発展に寄与してまいりたいと考えておりますので、なお一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

若人 youth
わこうど

「社会に貢献できる力を」

矢田建設株式会社 取締役 矢田 芳充



この度、けんせつ宇都宮への寄稿の機会をいただきありがとうございます。矢田建設株式会社取締役を務めております、矢田芳充と申します。本年度より、宇都宮建設業協会総務委員に加えていただき活動しております。委員会での活動は初めてなこともあり何かと至らぬ点があるかとは思いますが、先輩方のアドバイスをいただいて一つ一つ努力していく所存でございます。

弊社は昭和45年の創業以来、宇都宮建設業協会様、官公庁様、地域の皆様など、多くの方々のご支援ご協力により支えられて活動してまいりました。これも長年培ってきた信頼関係とお

客様に満足していただける仕事を積み重ねてきた結果であると、感謝しております。

近年、過去に例を見ない社会・経済構造の大きな変革が進む中であって、本当の意味で我々建設業が社会に貢献できるかどうか、今厳しく問われています。社会の要請が多様化していく中、我々にはそれに対応できるだけの技術力、マネジメント力が大きな課題となってきました。

今後ともお客様のご要望にお応えし、地域に貢献できる企業を目指してより一層努力していきたいと思っております。まだまだ若輩者ではございますが、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

労働保険適用促進強化期間 11/1～11/30

『1人でも雇ったら、入ろう。労働保険。』

労働者が安心して働けるよう「労働保険（労災保険・雇用保険）」の加入手続をされていない事業主の方は、労働基準監督署又は公共職業安定所で加入手続をしてください。

詳しくは、最寄りの労働基準監督署又は公共職業安定所にお尋ねください。

栃木労働局総務部労働保険徴収室 TEL 028-634-9113

宇建協会会員親睦旅行

2016.10/13～15



10月13日(木)から15日(土)の3日間にわたり宇都宮建設業協会会員親睦旅行が開催され、22名にて北海道に行ってまいりました。

まだ初秋の気が残る宇都宮から空路で北海道の千歳空港にお昼頃に到着しました。

その後、曇り模様で少し涼しい空気を感じながら札幌へ向かいました。

2日目は、観光組とゴルフ組に分かれ観光組は余市方面へ、ゴルフ組は札幌国際カントリークラブへと向かいました。観光は小樽を過ぎて、かつてニシン漁で栄えた忍路(オシロ)の美しい海岸線をバスで走りながら「マッサン」こと竹鶴政孝が創業のニッカウイスキー余市蒸留所へ工場内は創業当時から残る数々の文化財が残っており、ウイスキー博物館ではウイスキーの蒸留の過程や竹鶴政孝とリタ婦人の物語にまつわる展示物を観覧することができました。

その後、小樽ではバスガイドさんの感情のこもった案内が功を奏してか、お土産もついつい買い過ぎてしまいました。ショッピングを楽しみました。

その日の夜は札幌の郷土料理に舌鼓を打ちながら、疲れを忘れるほどに楽しい時間を過ごすことができました。

3日目は、札幌市中央卸売場外市場にて買い物をし、その後サーモンパーク千歳に向かいました。園内は千歳川沿いにあり、石狩湾から上がってくる鮭をインディアン水車と呼ばれる施設で捕獲する様子を見学しましたが、今年は相次いだ台風の影響で鮭の遡上が少なく、残念ながらたくさん鮭が水車に上がる光景を見ることはできませんでした。

帰路は千歳空港から夕焼けの美しい東京湾を望みながら羽田へ戻り、無事宇都宮へと到着しました。

3日間の旅行を通し、会員相互の親睦を深めることができました。

(船見)

編集後記

金木犀が放つ優しい香りに癒されゆっくりしたいところだが、イベントも佳境を迎えるこの頃は休む暇がない。当協会の各委員会の面々も安全パトロールやセミナー、クリーンアップ、献血、城址まつり、研修旅行等々と地域や業界のために走り回っている。来月の宇都宮マラソン大会までは忙しい。冬を迎える前の社会貢献「大売出し」といったところだろうか。

水面下でも冬支度が慌ただしい。鮭たちが群れを成して那珂川を遡っている。中禅寺湖ではマスたちが深紅の婚姻色を纏い必死に川を遡上している。同時に、来年から同湖

でヒメマスの持ち出しが解禁になるという朗報も聞こえてきた。来春の湖畔は、釣り客で賑わいそうだ。

陸の上では深紅のユニフォームが必死に古賀志の山でもがいている。今月22・23日に開催されるジャパンカップサイクルードレース(第25回記念大会)で勝利を目指す宇都宮ブリッツェンの選手たちだ。こちらも練習に余念がない。同じ深紅色の甲冑を身に纏い、徳川家康を追い込んだ真田幸村のように、勇猛果敢に海外勢と闘い歴史に名を刻んでほしい。深紅から力を貰う秋。我々もあやかりたい。

(荒井 学)

けんせつ
宇 都 宮

■1981年7月創刊
■2016年11月10日発行
■発行：一般社団法人宇都宮建設業協会
■会 長：増淵 薫

■編 集：総務委員長 荒井 学
■TEL：028-636-5221
■URL：http://www.ukenkyo.org/
■E-mail：ukenkyo@ukenkyo.org

■印刷所：藤崎印刷株式会社
■TEL：028-633-4530
■E-mail：info@fujisaki-p.jp

